



田辺三菱製薬株式会社

2009年度第2四半期 決算説明会

2009.11.4
於：ホテルメトロポリタンエドモント

代表取締役社長
土屋裕弘



2009年度第2四半期 決算概要

(平成22年3月期)

2009年度第2四半期累計期間 決算概況

(2009年4月～9月)



	2008年度	2009年度	増減		当初予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	2,063	1,982	-81	-3.9	1,995	99.4
売上原価	789	710	-79	-10.1	740	96.0
売上原価率	38.3%	35.8%			37.1%	
販管費	933	998	+65	+6.9	1,030	96.9
営業利益	341	275	-66	-19.4	225	122.0
経常利益	351	279	-72	-20.6	225	124.0
四半期純利益	164	136	-28	-17.3	100	135.5

当初予想: 2009年5月8日決算発表時に公表した2009年度上期予想値

事業別売上高



【2009年度第2四半期累計期間 決算概況】

田辺三菱製薬

	2008年度	2009年度	増減		当初予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	2,063	1,982	-81	-3.9	1,995	99.4
(うち海外売上)	(190)	(135)	(-55)	(-29.1)	(135)	(100.0)
医薬品事業	1,910	1,934	+25	+1.3	1,930	100.2
国内医療用医薬品	1,651	1,721	+70	+4.2	1,725	99.8
海外医療用医薬品	134	113	-21	-15.4	110	103.0
一般用医薬品	29	27	-2	-7.0	30	88.7
その他	96	73	-23	-23.5	65	113.0
その他事業	154	48	-106	-68.8	65	73.9

国内医療用医薬品 主要製品売上高

【2009年度第2四半期累計期間 決算概況】

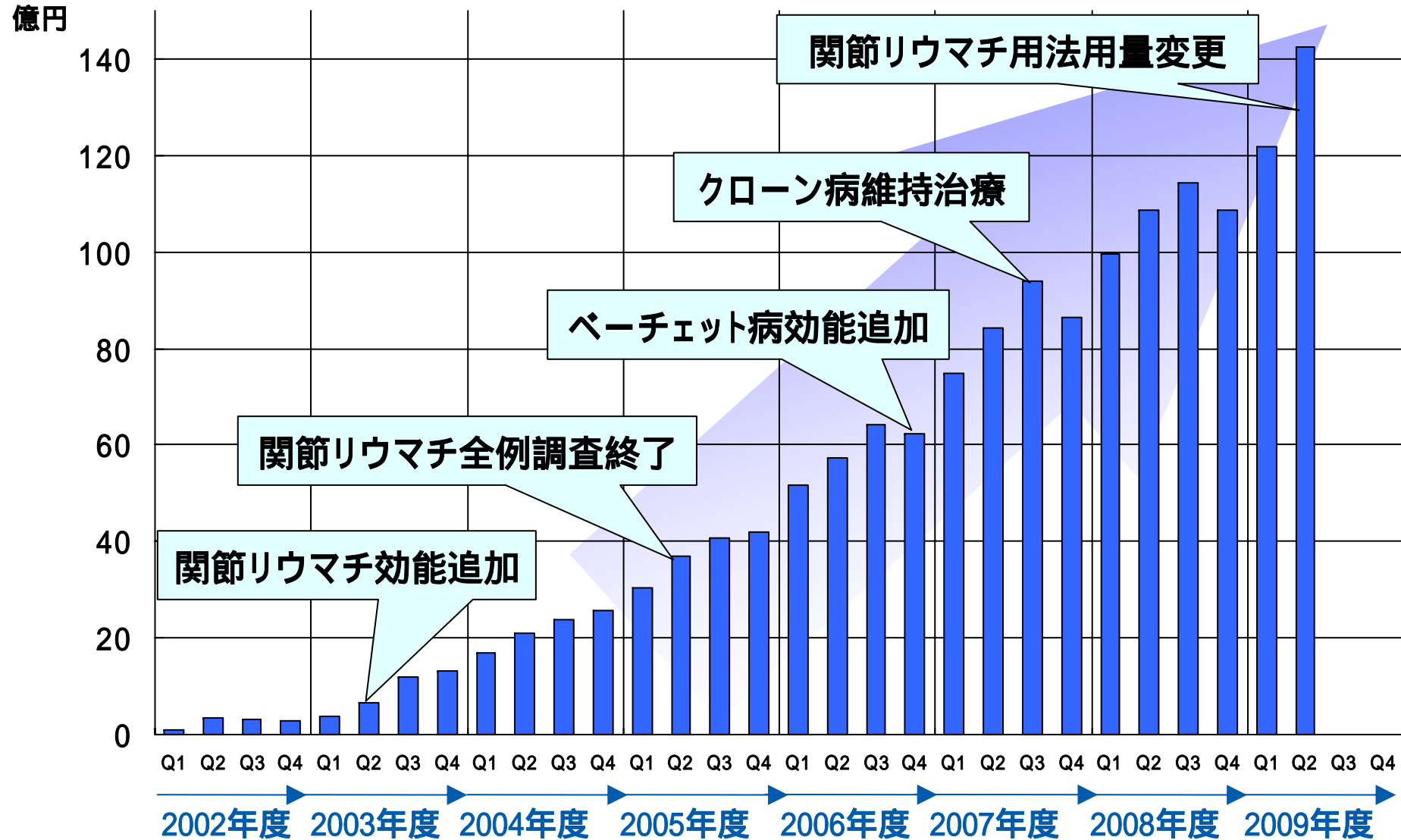


	2008年度	2009年度	増減		当初予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
国内医療用医薬品	1,651	1,721	+70	+4.2	1,725	99.8
レミケード	177	227	+50	+28.1	227	100.2
ラジカット	139	139	0	+0.1	138	100.3
アンプラーグ	91	95	+4	+4.8	99	96.4
ウルソ	80	83	+2	+2.7	82	100.1
タナトリル	61	58	-3	-4.7	60	96.0
タリオン	35	41	+6	+17.5	41	100.5
セレジスト	82	84	+2	+3.0	86	98.3
ヘルベッサー	60	56	-4	-7.4	57	96.9
デパス	59	59	0	-0.4	59	100.1
メインテート	50	55	+4	+8.6	53	104.0
ヴェノグロブリン-IH	56	49	-6	-10.8	52	95.2
ワクチン	103	131	+28	+27.1	105	125.0
(ミールビック)	(72)	(78)	(+6)	(+8.3)	(73)	(106.4)
(インフルエンザ)	(14)	(24)	(+11)	(+78.4)	(12)	(202.7)

レミケード®の売上推移(薬価ベース)



【2009年度第2四半期累計期間 決算概況】 田辺三菱製薬



売上原価・販管費



【2009年度第2四半期累計期間 決算概況】 田辺三菱製薬

	2008年度	2009年度	増減		当初予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	2,063	1,982	-81	-3.9	1,995	99.4
売上原価	789	710	-79	-10.1	740	96.0
売上原価率	38.3%	35.8%			37.1%	
販管費	933	998	+65	+6.9	1,030	96.9
研究開発費	376	446	+70	+18.5	470	94.8
人件費	252	262	+10	+3.9	256	102.4
販売促進費	57	56	-1	-1.6	58	97.1
のれん償却額	50	51	0	+0.8	50	101.3
その他	197	183	-14	-7.2	196	93.3
営業利益	341	275	-66	-19.4	225	122.0

営業外損益・特別損益



【2009年度第2四半期累計期間 決算概況】 田辺三菱製薬

	2008年度	2009年度	増減		当初予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
営業利益	341	275	-66	-19.4	225	122.0
営業外損益	11	5	-6	-57.4		
経常利益	351	279	-72	-20.6	225	124.0
特別利益	1	1	0		-	-
特別損失	48	47	-2		25	186.7
減損損失	6	18	+12			
事業休止関連損失	-	17	+17			
構造改革費用	-	5	+5			
特別退職金	39	-	-39			
四半期純利益	164	136	-28	-17.3	100	135.5



2009年度業績予想

(平成22年3月期)

2009年度業績予想

- 前年比較 -



	2008年度	2009年度	増減		当初予想	増減
	億円	億円	億円	%	億円	億円
売上高	4,148	4,080	-68	-1.6	4,080	-
医薬品事業	3,872	3,981	+109	+2.8	3,955	+26
その他事業	275	99	-176	-64.0	125	-26
売上原価	1,582	1,485	-97	-6.1	1,475	+10
売上原価率	38.1%	36.4%			36.2%	
販管費	1,849	1,960	+111	+6.0	1,970	-10
研究開発費	731	840	+109	+14.9	860	-20
人件費	500	523	+23	+4.6	507	+16
その他	617	597	-20	-3.3	603	-6
営業利益	717	635	-82	-11.4	635	-
経常利益	726	635	-91	-12.5	635	-
特別利益	12	1	-11	-91.7	-	+1
特別損失	258	81	-177	-68.6	45	+36
当期純利益	265	325	+60	+22.5	325	-

国内医療用医薬品 主要製品売上高予想

- 前年比較 -

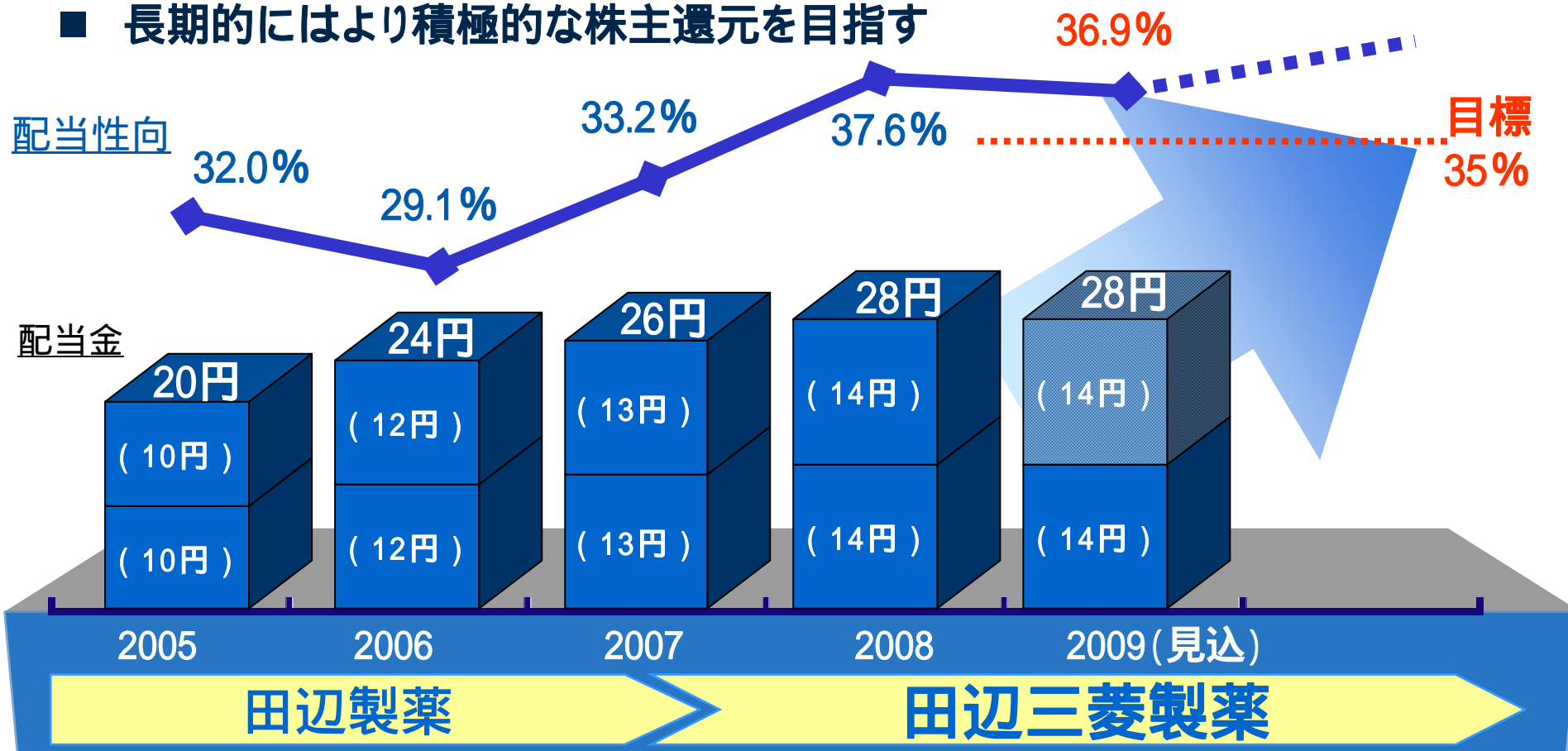


	2008年度	2009年度	増減	
	億円	億円	億円	%
国内医療用医薬品	3,354	3,563	+209	+6.2
レミケード	374	468	+94	+25.2
ラジカット	281	278	-3	-1.0
アンプラーグ	185	189	+4	+2.4
ウルソ	162	166	+4	+2.6
タナトリル	119	112	-7	-5.8
タリオン	104	122	+18	+17.6
セレジスト	162	170	+7	+4.5
ヘルベッサー	119	111	-8	-6.9
デパス	118	118	-0	-0.0
メインテート	102	110	+8	+7.4
ヴェノグロブリン-IH	110	103	-7	-6.6
ワクチン	215	232	+17	+8.0
(ミールビック)	(118)	(125)	(6)	(+5.4)
(インフルエンザ)	(67)	(65)	(-2)	(-2.8)

株主還元



- 連結配当性向35% (のれん償却前利益ベース)を目標とする
- 長期的にはより積極的な株主還元を目指す



2007年度の配当金は、田辺製薬の中間配当金と田辺三菱製薬の期末配当金を用いております。また、配当性向は田辺三菱製薬の下期の当期純利益からのれん償却額およびHCV訴訟損失引当金繰入額を除いた利益と期末配当額から算出しております。2008年度、2009年度の配当性向は、当期純利益からのれん償却額およびHCV訴訟損失引当金繰入額を除いた利益と年間配当金から算出しております。

中期経営計画08-10

重点課題の進捗状況

08-10中期重点課題とアクションプラン



国内営業のプレゼンス向上

重点開発プロジェクトの確実な推進

海外医薬品事業展開の推進

ジェネリック医薬品事業の推進

効率的な組織・コスト構造の構築

08-10中期重点課題の進捗トピックス

2008年度決算発表時点(2009年5月8日)からの進捗



国内営業のプレゼンス向上

- レミケード、タリオン等でシナジーを創出
- 日本脳炎新型ワクチンの発売(6月)
- 「セレジスト」の口腔内崩壊錠の発売(10月)

海外医薬品事業展開の推進

- 米国販売会社「Mitsubishi Tanabe Pharma America, Inc.」を設立(7月)
- 高コレステロール血症治療剤(興和)のアジア一部地域での開発・販売権を取得(8月)

08-10中期重点課題の進捗トピックス

2008年度決算発表時点(2009年5月8日)からの進捗



重点開発プロジェクトの確実な推進

- 異なる作用機序の糖尿病開発プロジェクトが着実に進捗
 - ◆MP-513 (テネリグリプチン): DPP4阻害剤
 - 【海外】 欧州フェーズ2 (8月)
 - 【国内】 フェーズ3 (10月)
 - ◆TA-7284 (カナグリフロジン): SGLT2阻害剤
 - 【海外(ジョンソン・エンド・ジョンソン社開発)】 欧州・米国フェーズ3(9月)
 - 【国内】 フェーズ2 準備中
- 米欧腎領域の2品目、国内開発品(MP-424)も順調に進捗
- LCMによるレミケードの製品価値最大化
 - ◆潰瘍性大腸炎の効能追加 申請 (6月)
 - ◆関節リウマチの用法・用量の変更 承認 (7月)

08-10中期重点課題の進捗トピックス

2008年度決算発表時点(2009年5月8日)からの進捗



ジェネリック医薬品事業の推進

- 6成分13品目の新発売(5月)
- 長期収載品の田辺製薬販売への販売移管(10月)
- 営業組織の強化(10月)

効率的な組織・コスト構造の構築

- 大阪本社地区の集約・統合(10月)
- 大阪工場の田辺三菱製薬工場への統合(10月)
- コストシナジー 165億円(合併以降累計)を創出



田辺三菱製薬株式会社

注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、当社が一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。